

JT-Q952-a
PBX間 デジタルインタフェース
(付加サービス)
- 転送サービスレイヤ 3 仕様

Digital Interface between PBXs
(Supplementary Services) - Call Offering Service

第1版

1992年4月28日制定

社団法人
情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE

本書は、(社)情報通信技術委員会が著作権を保有しています。

内容の一部又は全部を(社)情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

<参考>

1. 国際勧告等との関連

本標準は、1991年10月 CCITT-SGXI ジュネーブ会合でまとめられた CCITT 勧告 Q. 952 「転送付加サービス」草案（以下「草案」は省略して用いる。）をベースとして、TTC 標準 JT-Q931-a 「PBX 間デジタルインタフェース（共通チャネル形信号方式）」を用いて PBX 間で着信転送サービスを提供するために最低限必要なサービス概要、関連メッセージ、情報要素を規定したものである。CCITT 勧告 Q. 952 に含まれるその他の転送サービスは将来検討とする。

2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

(1) CCITT 勧告 Q. 952 との差分を以下に示す。

本標準	CCITT勧告Q. 952	差分
1. サービス概要	2/5. 1 定義 2/5. 2 解説 2/5. 2. 1 概要	CCITT勧告Q. 952を参考にPBX間のサービスとして記述した。
2. 特殊用語	2/5. 2. 2 用語定義	PBX間で最低限必要となる特殊用語を規定した。 CCITT勧告Q. 952で、転送サービス登録手順等、ユーザ・網インタフェース記述で使用する用語が示されているが、PBX間では規定対象外であるため、記述しないこととした。ISDN番号は、私設網内番号に置き換えた。

本標準	CCITT勧告Q. 952	差分
対応無し	2/5. 2. 3 略号	転送サービス名として使用する略号は、「1. サービス概要」に示した。 ユーザ・網インタフェースの記述で 사용되는略号は、本標準の規定範囲外であるため削除した。
対応無し	2/5. 2. 4 状態定義	転送の開始/停止/登録に関する状態はPBX間では規定対象外であるため、削除した。
対応無し	2/5. 3 運用上の要求条件 2/5. 3. 1 サービス提供/取消し 2/5. 3. 2 発側の網に対する要求条件 2/5. 3. 3 着側の網に対する要求条件	サービスに関する記述であるため、加入オプション、網側オプションを「付録 I シーケンス例」の着信転送のサービス分類として記述した。
3. 関連メッセージ、情報要素	2/5. 4 コーディング上の要求条件	PBX間で着信転送サービスに必要なメッセージ及び情報要素とコーディングについて記述した。 転送先番号、転送元番号、通知識別子のコーディングは、CCITT勧告Q. 952を参照した。 通知識別子情報要素” diversion acti-vated (転送登録中)” は、端末-PBX間で通知する情報であるため、記述から削除した。

本標準	CCITT勧告Q. 952	差分
3. 関連メッセージ、 情報要素 (つづき)		<p>転送先番号長、転送元番号長は、CCITT勧告Q. 952では規定されていないが、TTC標準JT-Q931-aに示される発番号情報と同様に、転送先番号を36オクテット、転送元番号を37オクテットとした。</p> <p>CCITT勧告Q. 952では、ユーザ・網間で転送の登録、通知を行うためにファシリティ情報要素のコーディングを規定しているが、PBX間では規定範囲外であるため、記述しないこととした。</p>
対応無し	2/5. 5 S及びT参照点における信号手順	<p>サービスに関する記述であるため、加入オプション、網側オプションを「付録I シーケンス例」の着信転送のサービス分類として記述した。</p> <p>転送サービス登録手順等、ユーザ・網インタフェースに関する記述は削除した。</p>
4. 他のサービスとの相互作用	2/5. 6 他の付加サービスとの相互作用	TTC標準として標準化されているサービスの相互作用について記述した。
対応無し	2/5. 7 他の網との相互作用	本標準の規定範囲外であるため削除した
対応無し	2/5. 8 信号フロー (ANNEX-Aに記述)	本標準の規定範囲外であるが、参考として「付録I シーケンス例」を示した。

本標準	CCITT勧告Q.952	差分
対応無し	2/5.9 パラメータ値 (タイム)	不応答タイム値は、転送元PBXの仕様であるため、本標準では規定しない。 転送サービス登録手順に関するタイム値は、ユーザ・網インタフェースでの規定であり、本標準の規定対象外であるため削除した。
付属資料1 PBX間SDL図	2/5.10 動的記述(SDL)	PBX間で必要なSDLについて、TTC標準JT-Q931-aで記述されていない部分を示した。
付録 シーケンス例	ANNEX-A信号フロー	PBX間で付加サービスをインプリメントするために参考となるシーケンス例を記述した。 CCITT勧告Q.952加入オプション、網側オプションを着信転送のサービス分類としてシーケンス例を示した。

3. 改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第1版	平成4年4月28日	制定

4. 工業所有権

本標準に関わる「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページでご覧になれます。

5. その他

(1) 参照している勧告、標準等

TTC 標準： JT - Q931 - a

CCITT 勧告： Q . 952 草案

目 次

[概説]	1
1 . サービス概要	1
2 . 特殊用語	2
3 . 関連メッセージ、情報要素	3
3.1 関連メッセージ	3
3.1.1 「通知」 (NOTIFY)	3
3.1.2 「呼設定」 (SETUP)	4
3.1.3 「呼出」 (ALERTing)	5
3.1.4 「応答」 (CONNect)	6
3.1.5 「経過表示」 (PROGress)	7
3.2 情報要素	8
3.2.1 転送先番号 [Redirection Number]	8
3.2.2 転送元番号 [Redirecting Number]	9
3.2.3 通知識別子 [Notification Indicator]	11
4 . 他のサービスとの相互作用	12
4.1 発信者番号通知	12
4.2 発信者番号通知制限	12
4.3 接続先番号通知	12
4.4 接続先番号通知制限	12
付属資料 PBX 間 SDL 図	13
付録 転送付加サービスにおけるシーケンス例	15
付録 用語対照表	26

[概説]

本標準は、TTC 標準 JT - Q931 - a を通して、PBX - PBX 間で着信転送に係わる情報を通知するために最低限必要なサービス概要、関連メッセージ、情報要素について規定したものである。着信転送サービスには以下のサービスがある。

- ・無条件着信転送 (CFU)
- ・ビジター時着信転送 (CFB)
- ・無応答時着信転送 (CFNR)
- ・呼毎着信転送 (CD)

1 . サービス概要

(1) 無条件着信転送

無条件着信転送 (CFU) は、サービス対象ユーザの私設網内番号に対する着信呼を、無条件に、PBX が別の私設網内番号に転送する付加サービスである。サービス対象ユーザの発信呼は影響を受けない。

(2) ビジター時着信転送

ビジター時着信転送 (CFB) は、サービス対象ユーザが話中の場合に、その私設網内番号に対する着信呼を、PBX が他の私設網内番号へ転送することを可能にする付加サービスである。サービス対象ユーザの発信サービスは影響を受けない。

(3) 無応答時着信転送

無応答時着信転送 (CFNR) は、サービス対象ユーザが無応答の場合に、その私設網内番号に対する着信呼を、PBX が他の私設網内番号へ転送することを可能とする付加サービスである。サービス対象ユーザの発信サービスは影響を受けない。

(4) 呼毎着信転送

呼毎着信転送 (CD) は、着信時に、サービス対象ユーザが、他の私設網内番号に転送することを PBX に要求することを可能にする付加サービスである。転送は、着信ユーザ (サービス対象ユーザ) が着信に応答する前のみ可能である。サービス対象ユーザの発信サービスは影響を受けない。

2 . 特殊用語

- (1) サービス対象ユーザ / 転送元ユーザ / 着ユーザ
その私設網内番号への着信呼を転送することを要求しているユーザ。
- (2) 私設網内番号
TTC 標準 JT - Q931 - a で運ばれる番号である。
- (3) 転送先番号
転送先ユーザの私設網内番号。
- (4) 転送元番号
転送元ユーザの私設網内番号。
- (5) 転送元 PBX / 着 PBX
着信呼に対して転送を行った PBX。
- (6) 転送先 PBX
呼が転送される先の PBX。
- (7) 転送先ユーザ
呼が転送される先のユーザ。

3 . 関連メッセージ、情報要素

3.1 関連メッセージ

着信転送サービス提供のために、情報要素の規定が必要なメッセージを以下に示す。

- ・「通知」メッセージ
- ・「呼設定」メッセージ
- ・「呼出」メッセージ
- ・「応答」メッセージ
- ・「経過表示」メッセージ

3.1.1 「通知」(NOTIFY)

本メッセージは、着信転送サービスが起動されたことを示すために、後位 PBX から前位 PBX に転送される。(参照 表 3 - 1 / JT - Q952 - a)

表 3 - 1 / JT - Q952 - a

「通知」(NOTIFY)メッセージ内容

メッセージ種別 : 通知
定義区間 : グローバル
方向 :

情報要素	参照	方向	種別	情報長
プロトコル識別子	4 . 2 / JT - Q931 - a		M	1
呼番号	4 . 3 / JT - Q931 - a		M	3
メッセージ種別	4 . 4 / JT - Q931 - a		M	1
転送先番号	3 . 2 . 1		O	2 ~ 36
通知識別子	3 . 2 . 3		O	2 ~ 3

3.1.2 「呼設定」(SETUP)

本メッセージは、前位 PBX から後位 PBX に着信転送の呼設定を開始するために転送される。

(参照 表 3 - 2 / JT - Q952 - a)

表 3 - 2 / JT - Q952 - a

「呼設定」(SETUP)メッセージ内容

メッセージ種別 : 呼設定
定義区間 : グローバル
方向 :

情報要素	参照	方向	種別	情報長
発番号	4.5.9 / JT - Q931 - a		O	2 ~ 36
発サブアドレス	4.5.10 / JT - Q931 - a		O	2 ~ 23
着番号	4.5.7 / JT - Q931 - a		O	2 ~ 35
着サブアドレス	4.5.8 / JT - Q931 - a		O	2 ~ 23
転送元番号	3.2.2		O	2 ~ 37
その他の情報要素については3.1.13 / JT - Q931 - aを参照				

3.1.3 「呼出」(ALERTing)

本メッセージは、転送先ユーザの呼出が開始されたことを示すために、後位 PBX から前位 PBX に転送される。(参照 表 3 - 3 / JT - Q952 - a)

表 3 - 3 / JT - Q952 - a

「呼出」(ALERT)メッセージ内容

メッセージ種別 : 呼出
定義区間 : グローバル
方向 :

情報要素	参照	方向	種別	情報長
転送先番号	3.2.1		O	2~36
通知識別子	3.2.3		O	2~3
その他の情報要素については3.1.1 / JT - Q931 - aを参照				

3.1.4 「応答」(CONNect)

本メッセージは、転送先ユーザが呼を受け付けたことを通知するために後位 PBX から前位 PBX に送られる。(参照 表 3 - 4 / JT - Q952 - a)

表 3 - 4 / JT - Q952 - a

「応答」(CONN)メッセージ内容

メッセージ種別 : 応答
定義区間 : グローバル
方向 :

情報要素	参照	方向	種別	情報長
転送先番号	3.2.1		O	2 ~ 36
通知識別子	3.2.3		O	2 ~ 3
その他の情報要素については3.1.4 / JT - Q931 - aを参照				

3.1.5 「経過表示」(PROGress)

本メッセージは、着信転送の結果としてインタワーキングが生じた時、またはインバンド情報/パターンを提供する時、これらの事象を呼の過程として表示するために後位 PBX から送出される。(参照 表 3 - 5 / JT - Q952 - a)

表 3 - 5 / JT - Q952 - a

「経過表示」(PROG)メッセージ内容

メッセージ種別 : 経過表示
 定義区間 : グローバル
 方向 :

情報要素	参照	方向	種別	情報長
転送先番号	3.2.1		O	2~36
通知識別子	3.2.3		O	2~3
その他の情報要素については3.1.10/JT-Q931-aを参照				

3.2 情報要素

3.2.1 転送先番号 [Redirection Number]

転送先番号情報要素は、着信転送される転送先の番号を識別するために使用する。

8	7	6	5	4	3	2	1	オクテット
0	1	1	1	0	1	1	0	
転送先番号 情報要素識別子								
転送先番号内容長								2
0/1 拡張	番号種別			番号計画識別子				3
1 拡張	表示識別子		0	0	0	0 0		3a
			予 備		予 備			
0	番号ディジット (IA5 キャラクタ)							4

図 3 - 1 / JT - Q952 - a 転送先番号情報要素
(CCITT Q . 952)

3.2.2 転送元番号〔Redirecting Number〕

転送元番号情報要素は、着信転送の起動を行った転送元の番号を識別するために使用する。

8	7	6	5	4	3	2	1	オクテット
転 送 元 番 号								
0	1	1	1	0	1	0	0	1
情報要素識別子								
転送元番号内容長								2
0/1 拡張	番号種別			番号計画識別子				3
0/1 拡張	表示識別子	0	0	0	0 0		3a	
		予 備			予 備			
1 拡張	0	0	0	転送理由				3b
		予 備						
0	番号ディジット (IA5 キャラクタ)						4	

図 3 - 2 / JT - Q952 - a 転送元番号情報要素
(CCITT Q . 952)

転送理由は、以下の様にする。(参照 表 3 - 6 / JT - Q952 - a)

表 3 - 6 / JT - Q952 - a 転送理由

ビット	4321	
0000		不定
0001		ビジ-時着信転送
0010		無応答時着信転送
0100		呼毎着信転送
1111		無条件着信転送
上記以外		予約済

転送理由 (オクテット 3b) 以外の各フィールドは発番号情報要素と同様に定義される。

3.2.3 通知識別子〔 Notification Indicator 〕

通知識別子情報要素は、呼に関連した情報を通知するために使用する。

8	7	6	5	4	3	2	1	オクテット
通知識別子								
0	0	1	0	0	1	1	1	1
情報要素識別子								
通知識別内容長								2
1 拡張	通知内容							3

図 3 - 3 / JT - Q952 - a 通知識別子情報要素
(CCITT Q . 952)

表 3 - 7 / JT - Q952 - a 通知識別子情報要素
通知内容 (オクテット 3)

ビット 7654321
1111011 転送中 (注 1)
上記以外予約済

注 1 - 転送元 PBX または転送先 PBX において、発 PBX に転送通知を行う場合に使用する。

4. 他のサービスとの相互作用

4.1 発信者番号通知

相互作用なし。

4.2 発信者番号通知制限

相互作用なし。

4.3 接続先番号通知

相互作用なし。


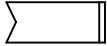
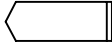
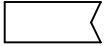
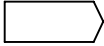
4.4 接続先番号通知制限

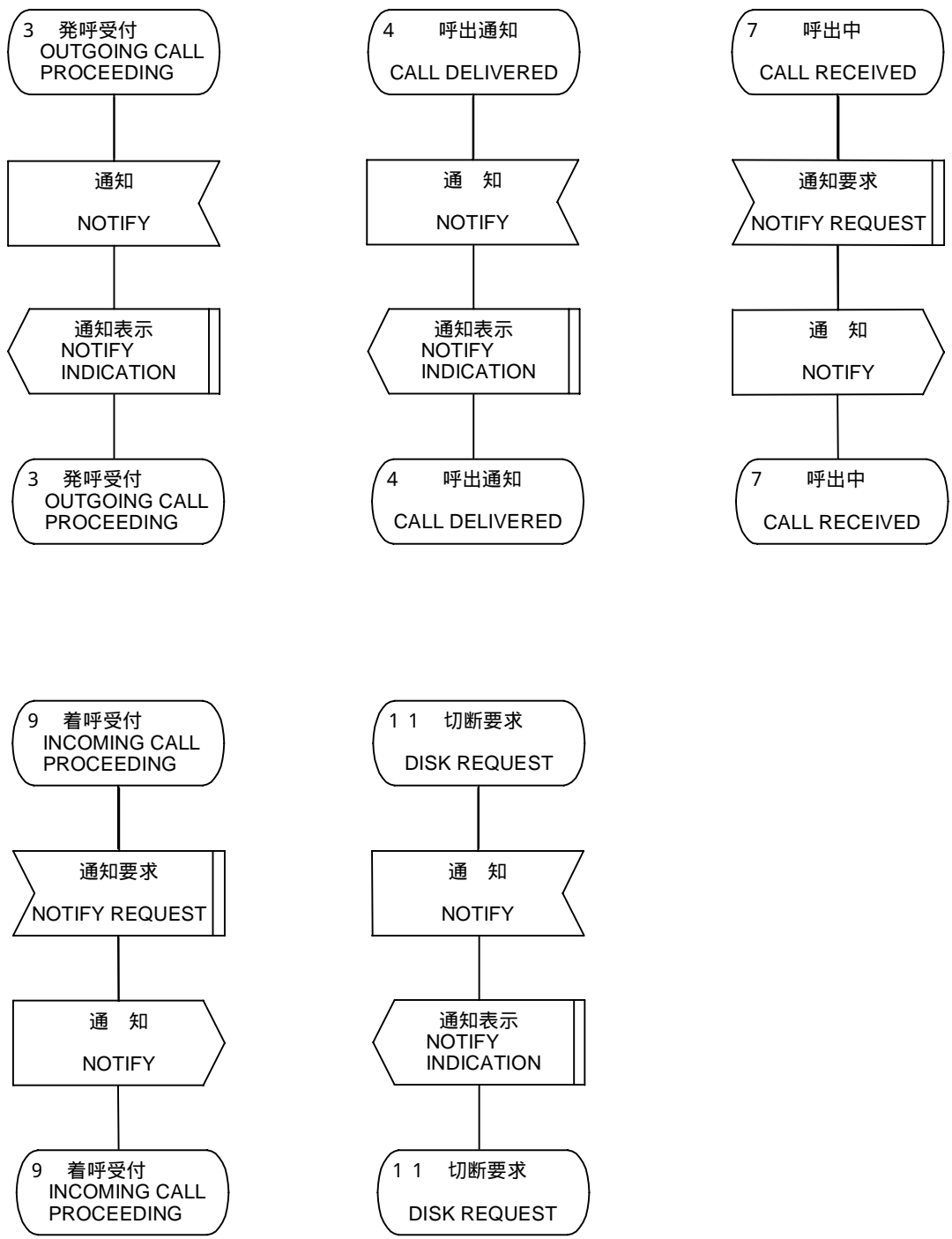
相互作用なし。

付属資料 : PBX間 SDL 図

この付属資料は、着信転送サービスの為の詳細 SDL 図である。TTC 標準 JT - Q931 - a の基本的な回線交換呼の為の詳細 SDL 図と合わせて使用される。

SDL 図に用いられる記号は次の通りである。

-  : 状態
-  : 呼制御部からのプリミティブ
-  : 呼制御部へのプリミティブ
-  : 対向 PBX からのメッセージ
-  : 対向 PBX へのメッセージ



付図 I - 1 / JT - Q952 - a 着信転送サービス詳細 SDL 図 (PBX 間) (1 / 1)

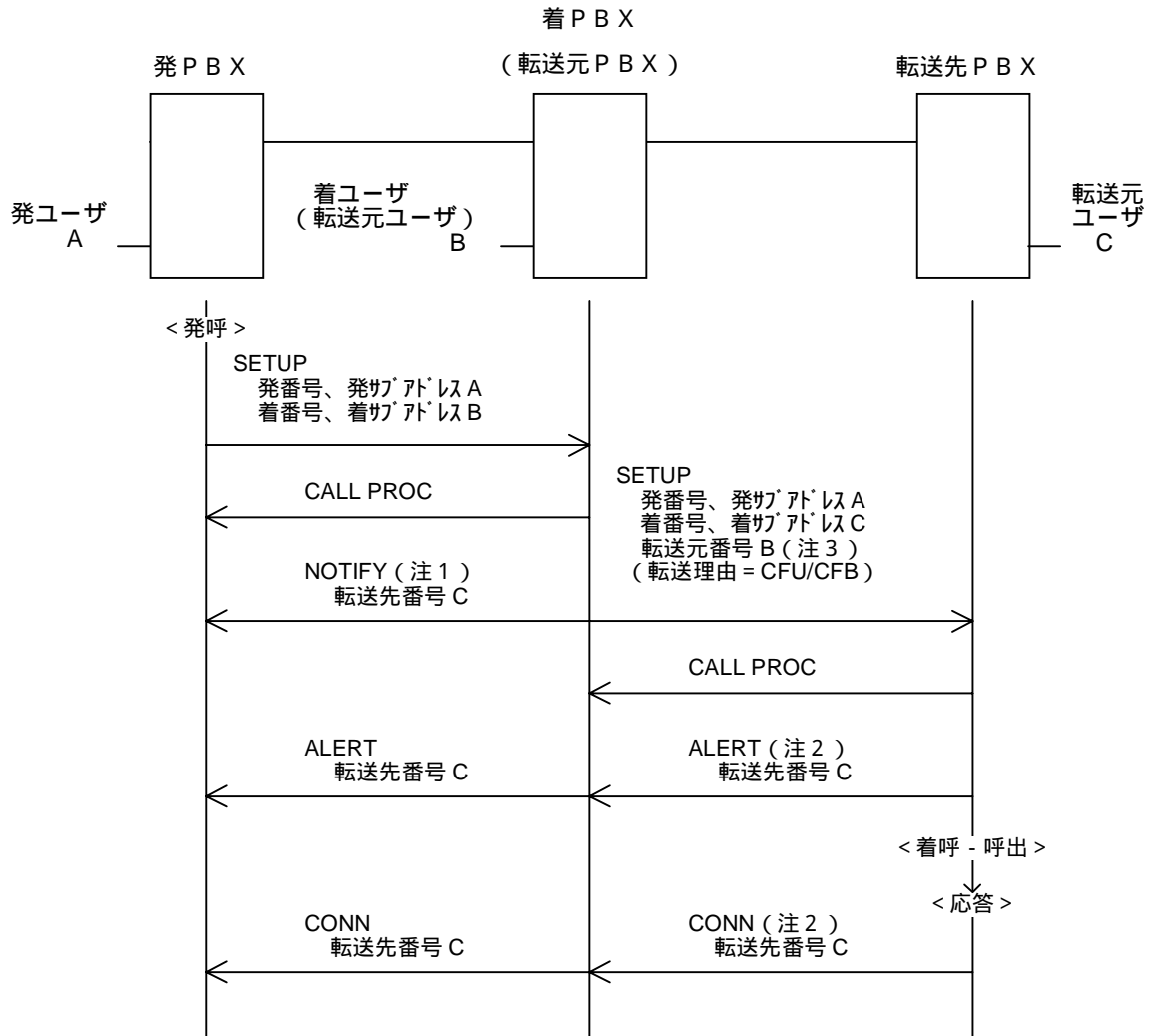
[付録] 転送付加サービスにおけるシーケンス例

本付録は、転送付加サービスの実際のインプリメントの参考となるシーケンス例を記載する。

P B X 収容端末間の転送は、転送元 P B X、転送先 P B X が縮退した形で表される。

1. 無条件着信転送 (CFU)、ビジター時着信転送 (CFB)

発ユーザ A が着ユーザ B に発信し、着ユーザ B が転送先ユーザ C に、CFU、CFB を設定している場合の例



付図 1 / JT - Q952 - a 無条件着信転送、ビジター時着信転送シーケンス例

(注1) 着信転送のサービス分類により次の場合がある。

- (1) 「発 PBX に転送通知しない」場合、発 PBX にメッセージを送出しない。
- (2) 「発 PBX に転送通知する(転送先番号なし)」の場合、発 PBX に「通知識別子 = 転送中」を情報要素を含む「NOTIFY」を送信する。
- (3) 「発 PBX に転送通知する(転送先番号あり、表示は転送先ユーザの意志による)」の場合、発 PBX に転送先番号を情報要素を含む「NOTIFY」を送信する。転送先番号の表示識別子は、“表示制限”とする。通知識別子を入れてもよい。
- (4) 「発 PBX に転送通知する(転送先番号あり、表示は転送先ユーザの意志によらない)」の場合、発 PBX に転送先番号を情報要素を含む「NOTIFY」を送信する。
転送先番号の表示識別子は、“表示許可”とする。通知識別子を入れてもよい。

(注2) 着信転送のサービス分類により次の場合がある。

- (1) 「発 PBX に転送通知しない」場合、転送先 PBX は、転送先番号を送出しない。
- (2) 「発 PBX に転送通知する(転送先番号なし)」の場合、転送先 PBX は、転送先番号を送出しない。
- (3) 「発 PBX に転送通知する(転送先番号あり、表示は転送先ユーザの意志による)」の場合、転送先 PBX は、転送先番号情報要素を送出する。転送先番号情報要素の表示識別子は、転送先ユーザの条件により、転送先 PBX が、“表示許可”、“表示制限”のいずれかを設定する。通知識別子を入れてもよい。
- (4) 「発 PBX に転送通知する(転送先番号あり、表示は転送先ユーザの意志によらない)」の場合、転送先 PBX は、転送先番号を送出しない。

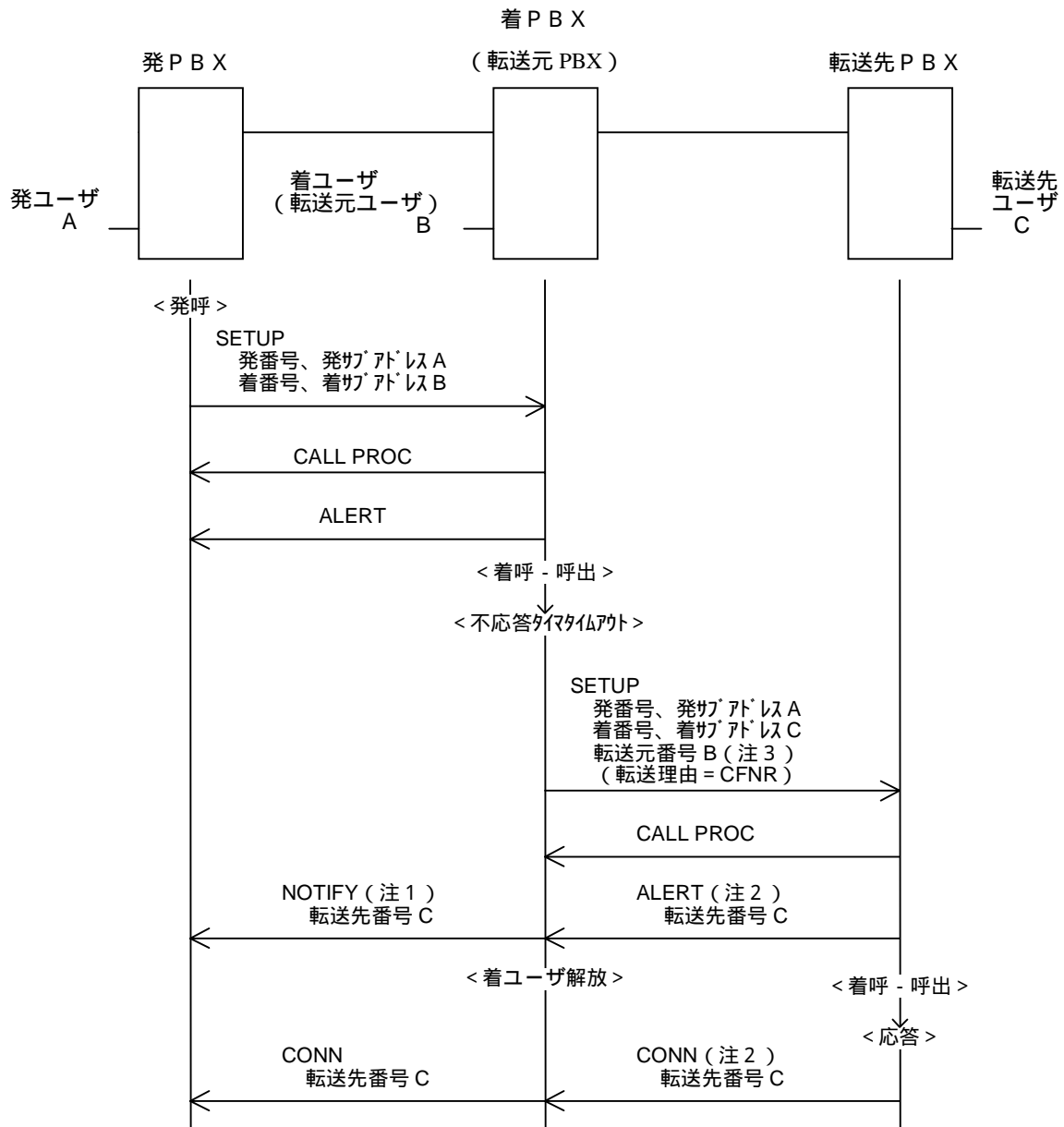
(注3) 着信転送のサービス分類により次の場合がある。

- (1) 「転送先 PBX に転送通知を送信しない」場合は、転送元番号を送信しないか、“表示制限”で転送元番号を送信する。
- (2) 「転送先 PBX に転送通知を送信する」場合は、“表示許可”で転送元番号を送信する。

2. 不応答時着信転送 (CFNR)

発ユーザ A から着ユーザ B に着信、着ユーザ B 不応答で、転送先ユーザ C に転送する場合のシーケンスを示す。転送元 PBX が転送先 PBX からの呼出通知を受けた時点で発 PBX に転送通知する場合と、転送元 PBX が、転送先 PBX へ転送の呼設定を行った時点で発 PBX に転送通知する場合とがある。

2.1 転送元 PBX が転送先 PBX からの呼出通知を受けた時点で発 PBX に転送通知する場合のシーケンス例



付図 - 2 / JT - Q952 - a 不応答時着信転送シーケンス例 (ケース1)

(注1) 着信転送のサービス分類により次の場合がある。

- (1) 「発 PBX に転送通知しない」場合、発 PBX にメッセージを送出しない。
- (2) 「発 PBX に転送通知する(転送先番号なし)」の場合、発 PBX に「通知識別子 = 転送中」を情報要素を含む「NOTIFY」を送信する。
- (3) 「発 PBX に転送通知する(転送先番号あり、表示は転送先ユーザの意志による)」の場合、発 PBX に転送先 PBX から受信した転送先番号を情報要素を含む「NOTIFY」を送信する。通知識別子を入れてもよい。
- (4) 「発 PBX に転送通知する(転送先番号あり、表示は転送先ユーザの意志によらない)」のサービス分類は、選択しない方が望ましい。

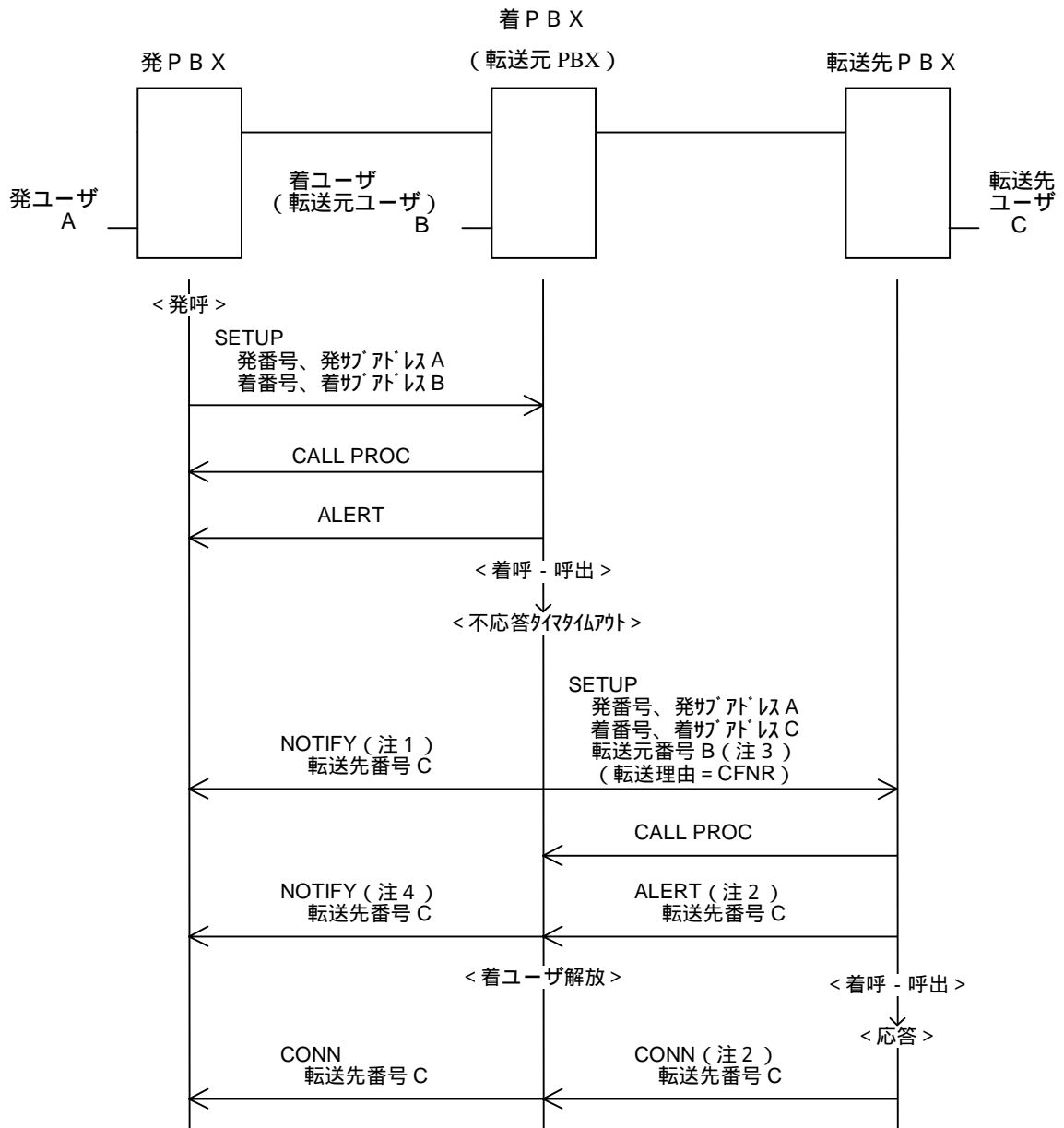
(注2) 着信転送のサービス分類により次の場合がある。

- (1) 「発 PBX に転送通知しない」場合、転送先 PBX は、転送先番号を送出しない。
- (2) 「発 PBX に転送通知する(転送先番号なし)」の場合、転送先 PBX は、転送先番号を送出しない。
- (3) 「発 PBX に転送通知する(転送先番号あり、表示は転送先ユーザの意志による)」の場合、転送先 PBX は、転送先番号情報要素を送出する。転送先番号情報要素の表示識別子は、転送先ユーザの条件により、転送先 PBX が、「表示許可」、「表示制限」のいずれかを設定する。通知識別子を入れてもよい。
- (4) 「発 PBX に転送通知する(転送先番号あり、表示は転送先ユーザの意志によらない)」のサービス分類は、選択しない方が望ましい。

(注3) 着信転送のサービス分類により次の場合がある。

- (1) 「転送先 PBX に転送通知を送信しない」場合は、転送元番号を送信しないか、「表示制限」で転送元番号を送信する。
- (2) 「転送先 PBX に転送通知を送信する」場合は、「表示許可」で転送元番号を送信する。

2.2 転送元 PBX が、転送先 PBX へ転送の呼設定を行った時点で発 PBX に転送通知する場合のシーケンス例



付図 - 3 / JT - Q952 - a 不応答時着信転送シーケンス例 (ケース2)

(注1) 着信転送のサービス分類により次の場合がある。

- (1) 「発 PBX に転送通知しない」場合、発 PBX にメッセージを送出しない。
- (2) 「発 PBX に転送通知する(転送先番号なし)」の場合、発 PBX に「通知識別子 = 転送中」を情報要素を含む「NOTIFY」を送信する。
- (3) 「発 PBX に転送通知する(転送先番号あり、表示は転送先ユーザの意志による)」の場合、発 PBX に転送先番号を情報要素を含む「NOTIFY」を送信する。転送先番号の表示識別子は、「表示制限」とする。通知識別子を入れてもよい。
- (4) 「発 PBX に転送通知する(転送先番号あり、表示は転送先ユーザの意志によらない)」の場合、発 PBX に転送先番号を情報要素を含む「NOTIFY」を送信する。転送先番号の表示識別子は、「表示許可」とする。通知識別子を入れてもよい。

(注2) 着信転送のサービス分類により次の場合がある。

- (1) 「発 PBX に転送通知しない」場合、転送先 PBX は、転送先番号を送出しない。
- (2) 「発 PBX に転送通知する(転送先番号なし)」の場合、転送先 PBX は、転送先番号を送出しない。
- (3) 「発 PBX に転送通知する(転送先番号あり、表示は転送先ユーザの意志による)」の場合、転送先 PBX は、転送先番号情報要素を送出する。転送先番号情報要素の表示識別子は、転送先ユーザの条件により、転送先 PBX が、「表示許可」、「表示制限」のいずれかを設定する。通知識別子を入れてもよい。
- (4) 「発 PBX に転送通知する(転送先番号あり、表示は転送先ユーザの意志によらない)」の場合、転送先 PBX は、転送先番号を送出しない。

(注3) 着信転送のサービス分類により次の場合がある。

- (1) 「転送先 PBX に転送通知を送信しない」場合は、転送元番号を送信しないか、「表示制限」で転送元番号を送信する。
- (2) 「転送先 PBX に転送通知を送信する」場合は、「表示許可」で転送元番号を送信する。

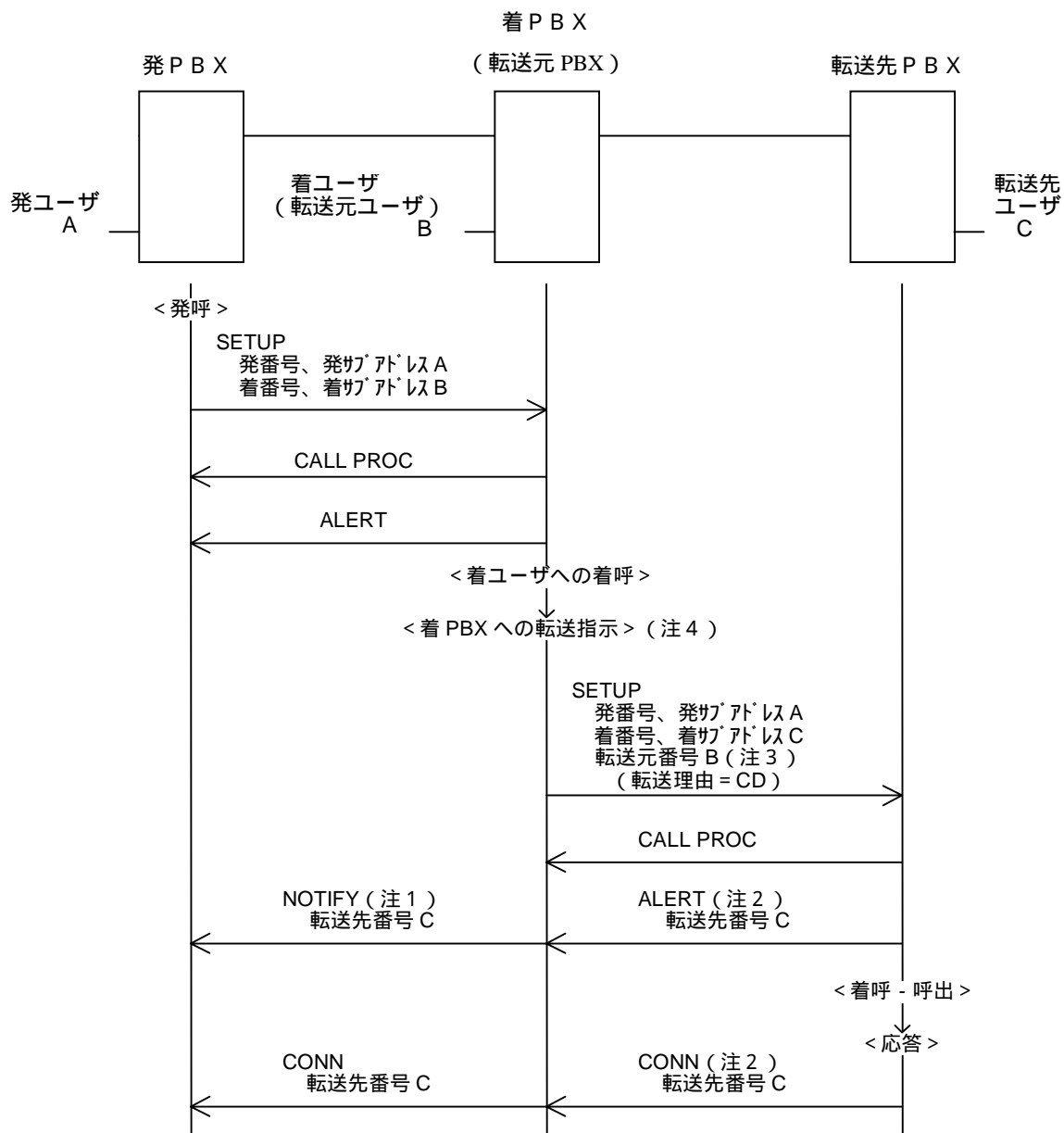
(注4) 着信転送のサービス分類により次の場合がある。

- (1) 「発 PBX に転送通知しない」場合、発 PBX にメッセージを送出ししない。
- (2) 「発 PBX に転送通知する（転送先者号なし）」の場合、発 PBX にメッセージを送出ししない。
- (3) 「発 PBX に転送通知する（転送先番号あり、表示は転送先ユーザの意志による）」の場合、発 PBX に転送先 PBX から受信した転送先番号を情報要素に含む「NOTIFY」を送信する。通知識別子を入れてもよい。
- (4) 「発 PBX に転送通知する（転送先番号あり、表示は転送先ユーザの意志によらない）」の場合、発 PBX にメッセージを送出ししない。

3. 呼毎着信転送

発ユーザ A から着ユーザ B に着信時、着ユーザ B の指示で、異なる PBX に収容される転送先ユーザ C に転送する場合のシーケンス例を示す。着ユーザからの転送指示は、着ユーザが SETUP 受信後、呼出フェーズで通知される場合（呼出フェーズ通知）と、即時に通知される場合（即時通知）とがある。

3.1 呼出フェーズ通知例



付図 - 4 / JT - Q952 - a 呼毎着信転送シーケンス例（ケース1）

(注1) 着信転送のサービス分類により次の場合がある。

- (1) 「発 PBX に転送通知しない」場合、発 PBX にメッセージを送出しない。
- (2) 「発 PBX に転送通知する(転送先番号なし)」の場合、発 PBX に「通知識別子 = 転送中」を情報要素を含む「NOTIFY」を送信する。
- (3) 「発 PBX に転送通知する(転送先番号あり、表示は転送先ユーザの意志による)」の場合、発 PBX に転送先 PBX から受信した転送先番号を情報要素を含む「NOTIFY」を送信する。通知識別子を入れてもよい。
- (4) 「発 PBX に転送通知する(転送先番号あり、表示は転送先ユーザの意志によらない)」の場合、発 PBX に転送先 PBX から受信した転送先番号を情報要素を含む「NOTIFY」を送信する。通知識別子を入れてもよい。

(注2) 着信転送のサービス分類により次の場合がある。

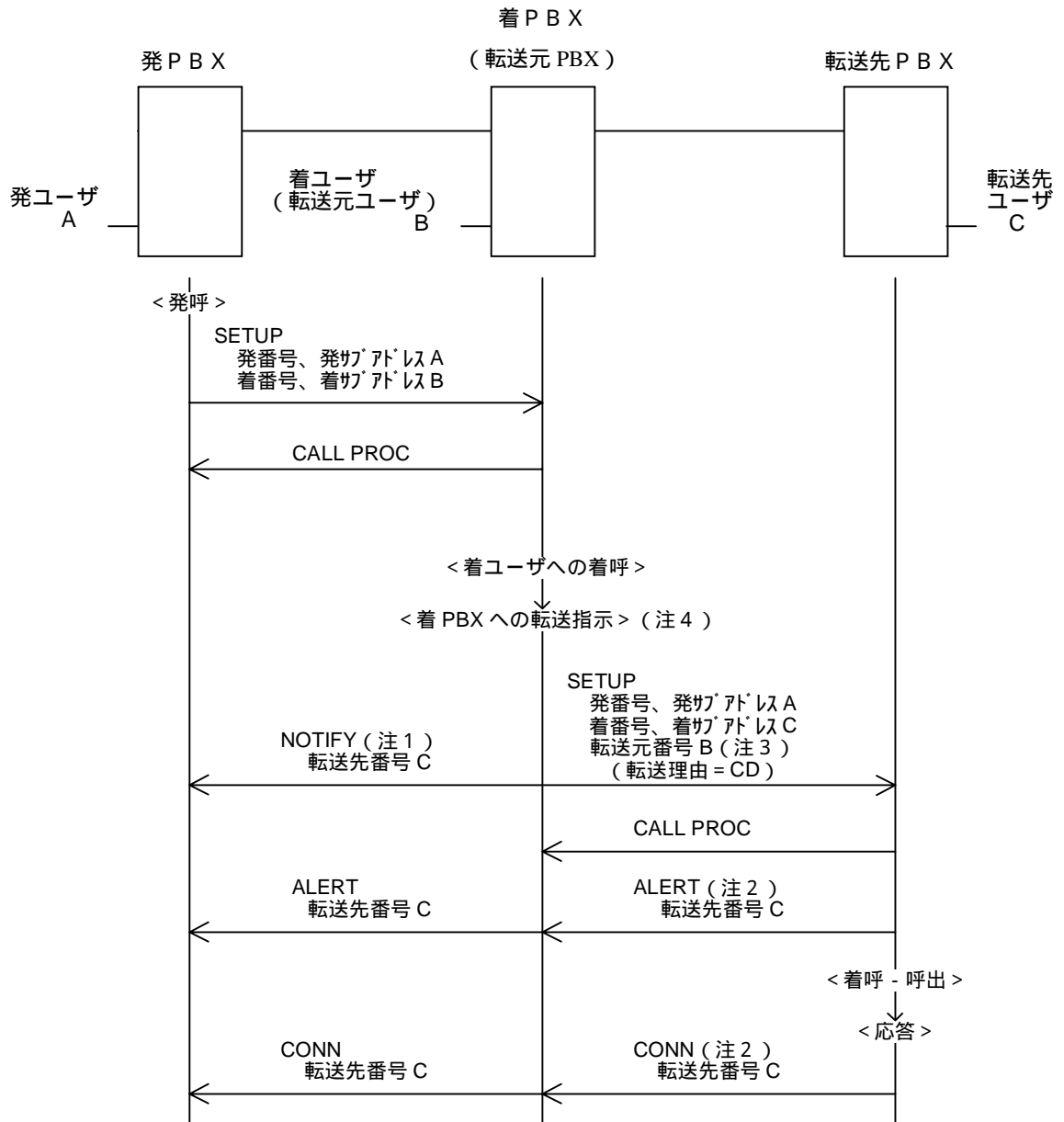
- (1) 「発 PBX に転送通知しない」場合、転送先 PBX は、転送先番号を送出しない。
- (2) 「発 PBX に転送通知する(転送先番号なし)」の場合、転送先 PBX は、転送先番号を送出しない。
- (3) 「発 PBX に転送通知する(転送先番号あり、表示は転送先ユーザの意志による)」の場合、転送先 PBX は、転送先番号情報要素を送出する。転送先番号情報要素の表示識別子は、転送先ユーザの条件により、転送先 PBX が、「表示許可」、「表示制限」のいずれかを設定する。通知識別子を入れてもよい。
- (4) 「発 PBX に転送通知する(転送先番号あり、表示は転送先ユーザの意志によらない)」の場合、転送先 PBX は、転送先番号情報要素を送出しない。

(注3) 着信転送のサービス分類により次の場合がある。

- (1) 「転送先 PBX に転送通知を送信しない」場合は、転送先番号を送信しないか、「表示制限」で転送元番号を送信する。
- (2) 「転送先 PBX に転送通知を送信する」場合は、「表示許可」で転送元番号を送信する。

(注4) 転送元ユーザから転送元 PBX への転送指示方法は、本標準の対象外である。

3.2 即時通知例



付図 - 5 / JT - Q952 - a 呼毎着信転送シーケンス例 (ケース2)

(注1) 着信転送のサービス分類により次の場合がある。

- (1) 「発 PBX に転送通知しない」場合、発 PBX にメッセージを送出しない。
- (2) 「発 PBX に転送通知する(転送先番号なし)」の場合、発 PBX に「通知識別子 = 転送中」を情報要素を含む「NOTIFY」を送信する。
- (3) 「発 PBX に転送通知する(転送先番号あり、表示は転送先ユーザの意志による)」の場合、発 PBX に転送先番号を情報要素を含む「NOTIFY」を送信する。転送先番号の表示識別子は、「表示制限」とする。通知識別子を入れてもよい。
- (4) 「発 PBX に転送通知する(転送先番号あり、表示は転送先ユーザの意志によらない)」の場合、発 PBX に転送先番号を情報要素を含む「NOTIFY」を送信する。転送先番号の表示識別子は、「表示許可」とする。通知識別子を入れてもよい。

(注2) 着信転送のサービス分類により次の場合がある。

- (1) 「発 PBX に転送通知しない」場合、転送先 PBX は、転送先番号を送出しない。
- (2) 「発 PBX に転送通知する(転送先番号なし)」の場合、転送先 PBX は、転送先番号を送出しない。
- (3) 「発 PBX に転送通知する(転送先番号あり、表示は転送先ユーザの意志による)」の場合、転送先 PBX は、転送先番号情報要素を送出する。転送先番号情報要素の表示識別子は、転送先ユーザの条件により、転送先 PBX が、「表示許可」、「表示制限」のいずれかを設定する。通知識別子を入れてもよい。
- (4) 「発 PBX に転送通知する(転送先番号あり、表示は転送先ユーザの意志によらない)」の場合、転送先 PBX は、転送先番号を送出しない。

(注3) 着信転送のサービス分類により次の場合がある。

- (1) 「転送先 PBX に転送通知を送信しない」場合は、転送元番号を送信しないか、「表示制限」で転送元番号を送信する。
- (2) 「転送先 PBX に転送通知を送信する」場合は、「表示許可」で転送元番号を送信する。

(注4) 転送元ユーザから転送元 PBX への転送指示方法は、本標準の対象外である。

付録

用語対象表

略号	フルネーム	日本語名等
CLIP	Calling Line Identification Presentation	発信者番号通知
CLIR	Calling Line Identification Restriction	発信者番号通知制限
COLP	Connected Line Identification Presentation	接続先番号通知
COLR	Connected Line Identification Restriction	接続先番号通知制限
CFU	Call Forwarding Unconditional	無条件着信転送
CFB	Call Forwarding Busy	ビジー時着信転送
CFNR	Call Forwarding No Reply	無応答時着信転送
CD	Call Deflection	呼毎着信転送

第1版 執筆作成協力者（平成4年1月23日現在）

（JT-Q952-a 制定）

第三部門委員会

（敬称略）

委員長	麻生 忠宏	日本電気(株)			
副委員長	杉本 晴重	沖電気工業(株)			
副委員長	野間 徹	日本ユニシス(株)			
	和智 恭彦	国際電信電話(株)	吉田 慎一郎	日本電信電話(株)	
	山崎 正	エヌ・ティ・ティ・データ通信(株)	閨井 清	(株)東芝	
	今井 元	住友電気工業(株)	宮崎 清司	富士通(株)	
	黒部 紘之	日本アイ・ビー・エム(株)	檜尾 次郎	(株)日立製作所	
	渡辺 恭行	東京電力(株)	小澤 和幸	日本電信電話(株)	
	黒部 純一	日本情報通信コンサルティング(株)			

第三部門委員会第一専門委員会

委員長	吉田 慎一郎	日本電信電話(株)			
副委員長	閨井 清	(株)東芝			
副委員長	宮崎 清司	富士通(株)			
	酒井 豊	国際電信電話(株)	武居 誠之	日本アイ・ビー・エム(株)	
	塚本 彰	東京通信ネットワーク(株)	高橋 修一	日本電気(株)	
	川口 博司	日本電信電話(株)	大井 真実	日本無線(株)	
	辻野 雅浩	(株)インテック	仲 敏行	日本ユニシス(株)	
	武田 恒男	エヌ・ティ・ティ・データ通信(株)	平岩 賢志	(株)日立製作所	
	柳田 清	アンリツ(株)	小松 雅喜	(株)日立テレコムテクノロジー	
	森内 宏一郎	沖電気工業(株)	都外川 紀文	富士通(株)	
	川鍋 裕紀	オムロン(株)	三塚 正博	松下通信工業(株)	
	高橋 匠	キヤノン(株)	岩橋 努	三菱電機(株)	
	日比野 悟	三洋電機(株)	町田 昭二	明星電気(株)	
	伊藤 泰三	シャープ(株)	三浦 克也	(株)リコー	
	古河 宏	新日本製鐵(株)	関谷 孝幸	(株)アルファシステムズ	
	西原 勉	住友電気工業(株)	吉川 恵嗣	東京電力(株)	
	石川 清	(株)東芝	中根 由和	日本情報通信コンサルティング(株)	

（JT-Q952-a の制定 検討グループ）

◎	平岩 賢志	(株)日立製作所			
○	伊藤 清嗣	日本電気(株)			
	川口 博司	日本電信電話(株)	小松 雅喜	(株)日立テレコムテクノロジー	
	圓佛 弘志	(株)インテック	上原 毅	富士通(株)	
	渡辺 正晃	沖電気工業(株)	柴田 孝義	松下通信工業(株)	
	松山 晃	シャープ(株)	寺島 浩二	三菱電機(株)	
	白川 雅一	(株)東芝	山下 祐司	東京電力(株)	
	津村 徳光	(株)日立製作所			

事務局 日塔 公一郎（第三技術部）